



ザンビアの経済概況・月報(2015年1月)

主なマクロ経済指標	2014年	2015年
1. 人口 (百万人)	15.0 (proj)	15.5 (proj)
2. 人口増加率 (%)	2.88 (est)	3.3(est)
3. 失業率 (%)	7.8(2012)	7.8 (2012)
4. 平均寿命 (年齢)	49.2(男性)/53.4(女性)	49.2(男性)/53.4(女性)
5. 実質GDP (百万米ドル)	-	-
6. 名目GDP (百万米ドル)	26,758 (est)	28,567 (proj)
7. GDP成長率 (%)	6.0	5.5 (proj)
8. 一人当たりGNI (米ドル)	1,358*1 (2012)	1,358*1 (2012)
9. インフレ率 (%)	7.9	7.7(Jan)
10. 消費者物価指数 (2009年=100)	141.51	146.76(Jan)
11. 貿易収支 (百万米ドル)	145.19	-12.92 (2014年12月)*2
12. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-64.65*4	-5.0 (2014年12月)*3
13. 輸出 (総額, 百万米ドル)*5	9,696.20	830.93 (2014年12月)*2
14. 対日輸出 (百万米ドル)	36.84*4	2.59 (2014年12月)*3
15. 輸入 (総額, 百万米ドル)*5	9,551.01	843.85 (2014年12月)*2
16. 対日輸入 (百万米ドル)	101.49*4	7.59 (2014年12月)*3
17. 経常収支 (百万米ドル)	-1,250 (2013年)	-
18. 対外直接投資 (百万米ドル)	181 (2013年)	-
19. 対内直接投資 (百万米ドル)	1,811 (2013年)	-
20. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	3,040 (2014年9月末)	3,040 (2014年9月末)
21. 対外債務残高 (百万米ドル)	4,700 (2014年12月末)	4,700 (2014年12月末)
22. 為替レート (対米ドル)	6.15ZMW*5	6.47ZMW (Jan)*4
23. 主要政策金利 (現行, 年利%)	11.56	12.50 (Jan)

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1 購買力平価(PPP)による一人当たりGNI
*2 1USD=6.34ZMW (2014年12月のザンビア中央銀行為替相場)を用いて換算
*3 1USD=108円 (2014年12月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*2 <2014年2月>
*3 主要輸出品目: 銅/硫酸/発煙硫酸/金(半製品)
主要貿易相手国(輸出): スイス 53.5%, 中国 15.2%, コンゴ(民) 7.2%, シンガポール 6.9%, 南アフリカ 4.3%, その他 12.9%
主要輸入品目: 医薬品/軽油/内燃機関用燃料/セラミックの電気絶縁体/高速道路用の騒音装置
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 32.5%, コンゴ(民) 19.6%, ケニア9.4%, 中国 7.5%, インド 4.2%, その他 26.7%
*4 1USD=106円 (2014年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*5 2013年1月1日から通貨クワチャのデノミネーションが実施され、1,000 ZMK(旧通貨) = 1 ZMW(新通貨)へと通貨単位が変更となった。
<出典> 1.-2., 6.-7.: Country Report 2015 (EIU), The World Factbook (CIA), Ministry of Finance in Zambia / 3. Zambia Labour Force Survey Report, 2012 (CSO&Ministry of Labour and Social Security) / 4. Census 2010 / 8.: UNDP Human Development Report / 9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO), Ministry of Finance in Zambia / 12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計 / 17.: The World Factbook (CIA) / 18.-19.: UNCTAD / 20., 21.: Ministry of Finance in Zambia / 22.-23.: Bank of Zambia

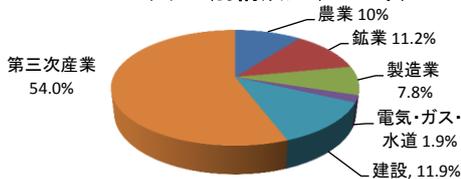
<ザンビアの税制度～鉱業関連～>

(出典: ザンビア歳入庁, ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料(Mineral Royalty):**
坑内掘りに8%、露天掘りに20%。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0 - 25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要とされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

GDPセクター別構成比(2013年)



(出典: ザンビア中央統計局(CSO)データから当館作成)

主要な経済ニュース(1月)

1. “事業コストはさらに削減可能”(Times, 5日)

「アフリカの統合」と称された、ハンス・ジャンセンによる研究結果において、ザンビアや近隣国において自由貿易地域(FTA)が完全に実施されれば、同地域の事業コストは20%まで減少する旨示された。

2. “肥料生産を加速させるべく、投資家を呼び込む”(Times, 7日)

ザンビア小規模農家全国労働組合(NUSFAZ)は、ザンビアの市場の日用品価格を下げるには、国内での肥料生産へのさらなる投資が必要であると発言した。

3. “世銀「ザンビアの成長の道は明るい」”(Daily Mail, 12日)

世銀は、2015年のザンビアの経済成長率を6.7%と予測し、ザンビア成長の見通しは明るい旨発言した。しかしながら、世銀は、そうした好調な成長見通しにもかかわらず、国内リスク及び対外リスクによって、ザンビア経済の中期的な見通しに陰りがみられる旨言及した。

4. “チクワンダ財務大臣「採掘権料は変更しない」”(Daily Mail, 14日)

ザンビア政府は、現在の採掘権料の税率に変更はない旨明らかにした。チクワンダ財務大臣は、新鉱山税制は公正な道筋であり、ザンビア歳入庁(ZRA)や鉱山企業による計画の策定を簡略化させる旨発言した。

5. “複合的経済特区、付加価値を促進”(Daily Mail, 19日)

シテンガ商業貿易産業大臣は、カプウェ等の郡における複合的経済特区(MFEZ)の設立は、雇用創出及び様々な原材料に対する付加価値促進の手助けとなる旨明らかにした。同大臣は、ザンビアの織物産業の現状は不安定であると表現したうえで、それゆえにザンビア政府は同セクターの再興を望む旨発言した。

6. “ルサカ南部複合経済特区、ドライ・ポートを獲得”(Times, 22日)

ザンビア政府は、ルサカ南部複合経済特区(LS-MFEZ)内の投資家による物品の決済を容易にすべく、同特区におけるドライ・ポートの設立をめざし、民間セクターと協働している旨明らかにした。カムサキLS-MFEZ 社長は、ドライ・ポートは民間セクターとLS-MFEZの共同で運営される旨発言した。

7. “インフラ開発はザンビア政府の最重要アジェンダ”(Daily Mail, 23日)

ザンビア政府は、第6次国家開発計画の開発目標を達成すべく、貧困削減及び格差の是正とともに、インフラ開発や人材育成の発展に引き続き焦点をあてていく旨明らかにした。

8. “医薬品の生産、7月に開始”(Times, 27日)

ルサカに医薬品製造プラントを建設しているインドNRB Pharma社は、今年7月に医薬品の商業生産を開始する。同プラントはLS-MFEZに位置しており、プラント建設に約1000万米ドルが投資されたと予測されている。同プラントでは、国内や域内、さらには国際市場に流通される抗マラリア薬やHIV/AIDS関連の医薬品の生産を開始する。

9. “IMF「政策の不安定性、ザンビア経済に影響」”(Post, 28日)

IMFは、ザンビアのマクロ経済政策の不安定性により、同国の為替レートやインフレ率に圧力がかかると発言した。IMFは、『2015年サブサハラアフリカ地域経済見通し』内で、多くのアフリカ経済に回復の兆しがみられるが、保健・医療やエネルギー、インフラに関する課題により暗雲が投げかけられると示唆した。

10. “ザンビア開発庁(ZDA), 30億超の外国直接投資プレッジ額が目標”(Daily Mail, 30日)

ザンビア開発庁(ZDA)は、2015年の外国直接投資のプレッジ額として30億米ドル超が誘致されると予測した。昨年のプレッジ額は、目標額である40億米ドルを超え、42億5000万米ドルを記録した。